

# 研究所アドバンスドセミナー

院内職員のごなたでも来聴歓迎です

講師:

## 岡 正啓 先生

大阪大学微生物病研究所  
感染腫瘍制御分野 特任研究員

講演タイトル:

### 「急性白血病で見られるヌクレオポリン融合遺伝子産物の新しい機能」

概要:

核膜孔の構成因子(ヌクレオポリン)であるNUP98やNUP214は急性白血病において転写因子など様々なパートナーと融合遺伝子(ヌクレオポリン融合遺伝子)を形成し、その発現が遺伝子発現異常を引き起こして病態に寄与することが分かっている。また、近年ヌクレオポリンが有するフェニルアラニンとグリシンの繰り返し配列(FGリピート)を介して形成される相分離構造体が、白血病の発症に重要であることが示唆されている。本セミナーでは、最近我々が見出した相分離構造体の新しい機能を中心に、ヌクレオポリン融合遺伝子産物が関わる疾患の分子メカニズムについて議論したい。

日時:

令和6年5月23日(木) 16:00 から

場所:

研究所6階 会議室

問い合わせ: 研究所 藤木 内線5402